



## 輝かしい未来を築くのは君たちだ！

岩手県立農業大学校 校長 竹澤 利和

岩手県立農業大学校 農産園芸学科及び畜産学科の課程を修了した38名の皆さん、御卒業、誠にありがとうございます。

卒業に至るまで、仲間とともに助け合い、支え合いながら多くの困難を乗り越えてきたと思いますが、その陰では、御家族をはじめ、恩師や地域の皆様など皆さんに関わる多くの方々への支えがあったことを忘れないでいただきたいと思います。

さて、今、世界そして日本国内の情勢が不確実性を増しています。こうした中、皆さんは、4月からそれぞれに新たな道を歩んでいくこととなりますが、農大での2年間で培った技術力と実践力をはじめ、精神力やコミュニケーション能力など多くの力を身につけました。卒業生の皆さんには、厳しさを増す情勢を好機と捉え、持てる力を存分に発揮しながら、わが国の食と農を支える逞しい人材として活躍されることを期待しています。

社会に羽ばたいていく中、困難な場面に遭遇することもあるかもしれませんが、プレッシャーに負けそうな時もあるかもしれません。そのような時、皆さんの周りには、家族や友人、そして本校同窓生など、皆さんをサポートする多くの方がいますし、本校も卒業生一人ひとりを大切にサポートします。本校との絆も、時々思い出し、頼りにしてもらえると嬉しいです。

卒業生の皆さんには、何ごとにも失敗を恐れず果敢に挑戦するとともに、多くの人との出会いと絆を大切にしながら、より素晴らしい人間として更なる成長を遂げ、必ずや輝かしい未来を築いていただくことを心から願っています。

## 令和7年度卒業式挙行



卒業証書授与

令和7年度卒業式が、令和8年3月10日（火）に挙行され、本科38名（農産経営科9名、野菜経営科11名、果樹経営科5名、花き経営科4名、酪農経営科2名、肉畜経営科7名）に卒業証書が授与されました。

校長賞等の表彰、校長式辞、知事告辞、来賓祝辞の後、在校生代表今野七虹さんの送辞、卒業生代表瀬川徳将さんの答辞及び前学生自治会長阿部誠也さんの卒業記念品贈呈が行われました。

卒業生が、本校で身につけた知識や技術、仲間を財産として、それぞれの道で活躍されることを在校生・職員一同大いに期待しています。



在校生代表、今野七虹さんの送辞



卒業生代表瀬川徳将さんの答辞



決意を新たにした卒業生一同



# 卒業生からのメッセージ



**【農産経営科】**農大で過ごした2年間はあっという間でしたが、かけがえのない仲間と大切な時間を過ごしました。藤岡先生や田村技能員に支えられながらのびのびと楽しく、専門的な知識と確かな技術を習得出来た事は、社会に出た時に大きな自信となると思います。

2年間をともに過ごしたクラスメイト、お世話になった先生方ありがとうございました。（西野 颯）



**【果樹経営科】**私は、高校生の時にりんご栽培のアルバイトをして農業の楽しさを知り、岩手農大へ入学しました。当初は少しの実践経験しかなく、また、新しい学友と馴染んで学んで行けるか不安でしたが、互いに切磋琢磨しあって多くの経験を積むことが出来ました。

卒業後は地元の有限会社に就職します。農大で得た知識や経験を活かして果樹栽培の発展に貢献できるよう励んでいきたいと思っています。（田中 前）



**【野菜経営科】**私は、授業や実習を通し、野菜栽培の基礎などを学びました。就農に向けて多くの方に助力をいただきながらも自分で考え、試行錯誤した卒業研究は非常に実りのある経験となりました。寮生活では自立する力や仲間と協力して生活する力を身につけ、楽しく生活できました。

担任の舘脇先生、柄澤先生や野菜経営科の皆様、2年間本当にありがとうございました。（千葉 賢一）



**【花き経営科】**私は、フラワーデザイナーになりたいと思い、岩手県立農業大学校に入学しました。入学後は、実習を通して栽培の基本となる作業を学び、フラワーデザインの授業では花束やアレンジメントを学ぶことが出来ました。2年生になってからは、技能五輪全国大会にも出場することができ、成長につながる良い経験となりました。卒業後は、地元の生花店に就職します。農大で学んだことを活かし、自分の明るさも大切にしながら頑張ります。（塩原 結羽）



**【酪農経営科】**2年間という短い時間でしたが、経営科を超えて仲間ができたこと、学生自治会長として寮運営や行事運営に携われたこと。そして、専門的な知識や技術だけでなく、助け合う大切さを改めて学ぶことが出来ました。及川先生はじめ諸先生方、お世話になりました。今後、夢実現のための更なる知識と技術の獲得に挑戦し続けていきます。改めて、2年間ありがとうございました。（阿部 誠也）



**【肉畜経営科】**肉畜経営科での2年間は、個性が放牧状態。でも不思議とまとまる、そんなクラスでした。暴走しそうな私たちを平間先生が見事に誘導し、笑いの中にも学びをたくさんいただきました。

牛より元気な私たちを育ててくれて、本当にありがとうございました！（佐藤 風雅）



# 卒業研究成果全体発表会を開催しました

12月17日（水）に卒業研究成果全体発表会を開催しました。

発表会は、1年学生の運営委員により進行、東京農業大学の門間敏幸名誉教授を審査員長として、岩手県農業農村指導士協会、岩手県農業法人協会及び県の農業行政関係機関からの審査員計7名により厳正な審査が行われ、最優秀賞1名、優秀賞2名が選ばれました。受賞した学生は、令和8年1月に本校で開催された東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会の本校代表となりました。



## 最優秀賞

環境制御温室における中玉トマトの安定生産技術の検討  
野菜経営科2年  
吉川 智博

### 1 課題選定理由

県の主要品目であるトマトは一本仕立て長期栽培が主流であるが、9月以降収量が減少する傾向があることから、秋期の収量向上に向けた技術を検討した。

### 2 結果

中段型栽培（6段摘芯）では単価が上がる9月以降も収量が安定した。また、グローブロック培地は安価でロックウール培地と同水準の品質、収量となり、中段型栽培とグローブロックの組み合わせが最も収益性が高かった。

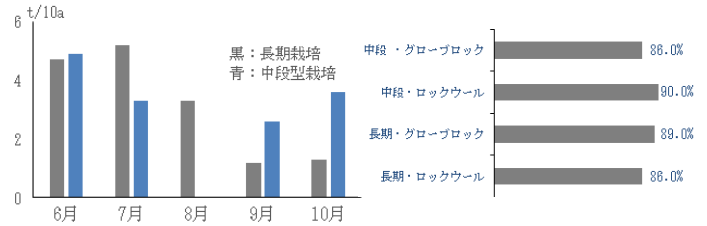


図1 各作型における月別収量

図2 商品果率

### 3 考察

中段型栽培とグローブロックの組み合わせは有望であることが示唆された。



## 優秀賞

水管理・植え付け深度における酒米の品質向上の検討  
農産経営科2年  
新山 亜衣

### 1 課題選定理由

近年の高温による酒米の品質低下に対して、深水、深植え栽培による品質改善の可能性を「吟ぎんが」および「結の香」を用いて検討した。

### 2 結果

深水または深植え栽培により、品質に重要な心白率、碎米率、玄米タンパク質および溶解性が改善傾向にあった。また、深植えにより水深の差による影響が緩和される事が示唆された。

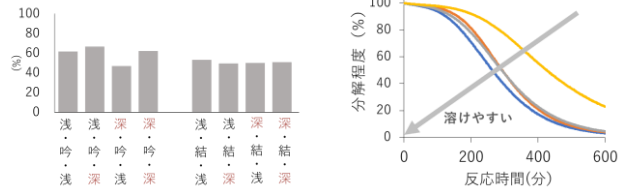


図1 各試験区における心白率

図2 アルカリ崩壊法を用いた「吟ぎんが」の溶解性分析

### 3 考察

本研究により、高温や水不足に対応する新たな高品質栽培法を確立出来る可能性を見出した。



## 優秀賞

籾殻マルチとミストによるハウスナスの高温対策の検討  
野菜経営科2年  
山口 連人

### 1 課題選定理由

近年の地球温暖化に応じたナスの低コスト栽培技術として、籾殻マルチを用いた地温上昇対策とミスト発生装置を用いた気温上昇対策を検討した。

### 2 結果

籾殻マルチ区は黒マルチ区と比べて夏季の収量が約1.1倍となったが、全体収量では純利益が黒マルチ区の8割に留まった。一方、ミスト設置区は未設置区と比べて1.8倍の収益となった。

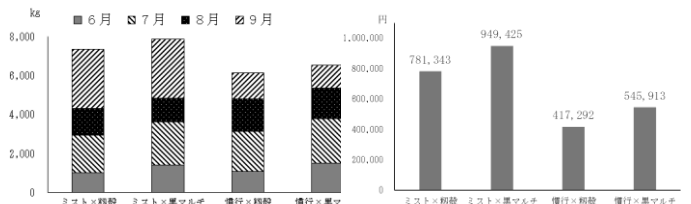


図1 試験区別の月別収量と全体収量

図2 試験区別の収差額

### 3 考察

ミストでは全体収量が向上した一方、籾殻マルチでは高温期に限り収量が向上したことから、全体収量向上に向けた検討が必要である。

## 本校で開催！東日本農業大学校等プロジェクト発表・意見発表会

1月14日（水）、15日（木）に本校で開催した本発表会では、北海道から福島県までの東日本地区の農業大学校等6校が参加し、本校1年生が主体となって運営しました。

運営委員は、発表会の進行や交流会の出し物などについて打ち合わせや練習を重ね、当日は各校の代表学生をお迎えして盛大に開催できました。

本校からの発表者は、プロジェクト発表に3名、意見発表に2名が出席し、残念ながら入賞はなりませんでした。日頃の練習の成果をいかに発揮した素晴らしい発表を行いました。

また、他校の素晴らしい発表も多いに勉強となり、とても有意義な大会となりました。



本校代表学生（意見発表会）

## オープンファームを開催しました

1月31日（土）に、本校で「令和7年度オープンファーム」が開催されました。県内農業法人の魅力や取組を農大生等に紹介し、雇用就農の足がかりとなるインターンシップ参加を促すもので、23の県内農業法人から説明をいただきました。

学生たちは各法人のブースで真剣に説明を聞いており、進路選択に対する積極的な姿勢が伺えました。自らの進路に一層真摯に向き合っていくものと思います。また父母等の皆様には、農業法人について知るよい機会になったものと思います。



各法人によるPRスピーチの様子

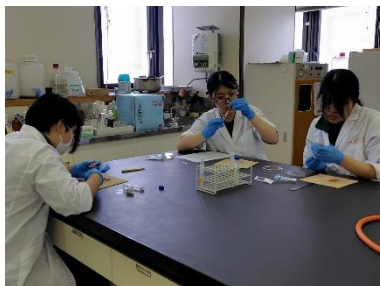


学生が個別にお話を伺いました

## 受精卵移植講習会を開催しました！

2月3日（火）から25日（水）まで、家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習会が本学で開催され、畜産学科の学生9名と一般受講生3名の計12名が参加しました。

講習会では、受精卵移植に必要な高度な技術や専門知識を学び、顕微鏡下での受精卵の取り扱いや凍結保存方法についても学びました。本学の畜産学科2年生は、退寮延期して資格取得に取り組み、全員が修業試験に合格しました。得た技術を活かし、今後は畜産業界に貢献することを期待しています。



全員無事に修業試験に合格しました！

## ～ 今後の主な行事予定 ～

月日	内容
4月 7日（火）	始業式
4月 8日（水）	新入生入寮
4月 9日（木）	入学式
4月10日（金）	新入生ガイダンス
4月16日（木）	学生健康診断

月日	内容
4月30日（木）	全校ガイダンス
5月13日（水）	学生自治会総会
5月15日（金）	父母の会総会
5月15日（金）	父母等面談